

# 符津校下のまいぶんマニュアル

## ☆☆符津校下ってこんなところ！☆☆

地形／符津校下は、加賀三湖（今江潟・木場潟・柴山潟）

にかこまれた台地（月津台地）にあります。

現在は今江潟全体と柴山潟の3分の2は埋め立てられています。

この台地上には、縄文時代のむらや古墳時代の古墳、飛鳥時代～平安時代の渡来人やものづくり集団のむらなど、たくさんの遺跡があります。

ぜひ授業で  
紹介してほしい  
ポイント！



地形の説明

## 年表に登場する遺跡／矢田野エジリ古墳（矢田野町[春日町]）

おもな時代は古墳時代。教科書の小単元は「縄文のむらから古墳のくにへ」。

ポイント①＝全長約30mを測る前方後円墳。古墳をかこむ堀（周溝）から  
たくさんの埴輪が見つかりました。

ポイント②＝埴輪のかたちから西暦500～550年に築かれた  
と考えられています。どんな人が埋葬されていたか  
はわかりませんでした。

ポイント③＝この埴輪のセットは北陸随一の質・量で、国の重要  
文化財に指定されています。

ポイント④＝古墳のあった場所は南部児童公園の南・春日町公民  
館あたりです。跡地には看板が立っています。



出土した埴輪群像



符津校下  
の遺跡



WEB版南加賀古墳  
探訪マップ

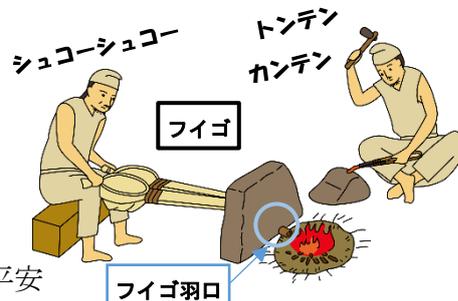


## 年表未登場の重要な遺跡／島遺跡（島町）

おもな時代は奈良・平安時代（遺跡の全体では弥生時代～室町時代まで）

ポイント①＝小学校の東、木場潟をはさんだ丘陵で、飛鳥時代～平安  
時代に製陶（やきものづくり）や製鉄（鉄づくり）が行  
われました。

ポイント②＝ものづくり集団たちは、現在の島町や矢崎町、額見町に  
あったむらに住んでいました。やきものを焼く窯道具や  
鉄を加工するための鍛冶の道具が見つっています。



島遺跡出土の鍛冶道具

（フィゴ羽口＝火に風を送る装置の部品）